

Albirex Racing Team

#9 アルビレックスF306 TLM

#10 Glocal アルビ TLM



2016年全日本F3選手権

Rd.3-4(富士スピードウェイ)レースレポート

#9廣田築選手が2戦連続表彰台獲得！  
開幕から4戦連続表彰台獲得を達成！



5/14(土) 予選・Rd.3決勝 5/15(日) Rd.4決勝  
富士スピードウェイ 1Lap=4.563km 出走:16台(Nクラス5台)

#9 アルビレックスF306 TLM ドライバー:廣田 築



#10 Glocal アルビ TLM ドライバー:岡崎善衛



## 5/14(土)予選

天気:曇 コース:ドライ

Rd.3予選:9時30分~9時40分

Rd.4予選:9時50分~10時00分

### #9 アルビレックスF306 TLM

廣田 築選手

予選結果:Rd.3 3位 Rd.4 4位

### #10 Glocal アルビ TLM

ドライバー:岡崎善衛

予選結果:Rd.3 4位 Rd.4 3位

ドライコンディションでの走行は今回のレースウィークが初めてとなる廣田選手は、連続表彰台獲得をかけたRd.3の予選に挑み、表彰台圏内の3番手を獲得。岡崎選手は廣田選手から0.093秒差遅れて4番手を獲得した。

前戦同様わずかに10分というインターバルを経て、Rd.4の予選がスタート。両選手とも徐々にニュータイヤのグリップに慣れていき、廣田選手、岡崎選手ともベストラップを縮めた結果、廣田選手3位、岡崎選手5位でセッションを終えた。



## 5/14(土)Rd.3 決勝

天気:曇 コース:ドライ 気温:28℃  
Rd.3決勝:14時10分～、15Laps

**廣田 築選手:3位**  
**岡崎善衛選手:4位**

スタートでポールの選手がストールし遅れ、さらに直後の1コーナーで2連勝中の選手がスピンによりリタイア。トップに廣田選手が浮上、2番手に岡崎選手というアルビRTワンツー体制のオーダーで序盤は進行。7周目、岡崎選手が3番手の選手にかわされ3位に後退するも、トップ廣田選手から4台が接近し、全員が1度は1位を走るという激しいバトルを展開していくこととなった。

そして4台がサイド・バイ・サイドのままファイナルラップへ突入する。

ここで、廣田選手の車両に接触があり、リヤにダメージを負い集団から遅れてしまう。さらに、岡崎選手はダンロップコーナーで仕掛けるため、前車の様子を伺いながらアドバンコーナーをアウト側からコーナリングするも、痛恨の単独スピン、そのままストップしてしまった。

それでも、廣田選手は何とか最後まで走り切り3位チェッカー、3戦連続で表彰台に立った。岡崎選手はストップしたものの規定周回数を満たしていたため4位となった。多くのスポンサー様が見守る中、歴史に残る大バトルを展開した選手たちには大きな拍手が上がるほど中身の濃いレースとなった。



## 5/15(日)Rd.4 決勝

天気:晴れ コース:ドライ 気温:27℃  
Rd.4決勝:10時55分～、21Laps

**廣田 築選手:3位**  
**岡崎善衛選手:5位**

オープニングラップでは3番グリッドの岡崎選手がスタートを決めトップに浮上。廣田選手が4位でオープニングラップを終えるも、トップの岡崎選手が少しずつポジションを下げてしまう。

その後、3番手に浮上した廣田選手はファイナルラップにかけて2番手の選手へプレッシャーをかけるも2位奪回まではならず、3位でレースを終えた。岡崎選手は5位でチェッカーを受けた。

### 廣田築選手のコメント

第3戦はスタートはまずまずでF3-Nのトップに立てたのですが、後続の選手のペースが良かったので逆転されてしまいました。そこに岡崎選手らも加わり、4台でのバトルになりました。そこで自分のペースを乱し、誰かと接触したところでマシンにダメージを負ってしまったようで終盤は他の3人についていけなくなりました。

第4戦はスタートから序盤のバトルで自分のリズムを乱してしまい、ポジションを落としましたが、冷静になってからはポジションを回復できました。次の岡山はテストで走る機会を得られなかったので、レースウィークが初めての走行になります。今まで以上に苦勞するかと思いますが、テクニカルサーキットは個人的にも好きなので、徐々にペースを上げていきたいと思います。サポートして頂いた方々、ありがとうございました。

### 岡崎善衛選手のコメント

練習走行ではニュータイヤを履いていなかったもので、結果だけを見ると少し厳しいのかなという状況でしたが、ニュータイヤのグリップを考慮するとどれくらいのところまでいけるのか、自分でもまだ測りきれていない部分がありました。実際に履いたらすごくフィーリングが良かったので、それで結果も良くなったと思います。それと、僕自身がマシンをだんだん扱えるようになってきたという部分もあると思います。

第3戦は自分のミスで優勝のチャンスを逃してしまいました。本当に悔しくてたまらなく、応援してくれる人たちに申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。僕自身のメンタルの弱さが出た結果だと思うので、必ず克服したいと思います。

第4戦のペースはきのうよりもよかったです。勝つにはもっと速さが必要でした。次戦岡山でもチャンスがあると思うのでそれを逃さないようにしたいと思います。応援して頂いた方々、スポンサー様、現地まで身に来て頂いた方々、本当にありがとうございました。

### 中村監督のコメント

今回の富士はワンツーフイニッシュをするべく乗り込みました。フリー走行より少しずつですが、タイムを削りました。

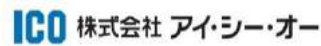
第3戦の決勝はアルビ2台+他の2台で終始バトルで、全員が一瞬でも1位を走るという混戦の状況で一時はワンツーにもなり、夢を見てしまいましたが、神様から「まだ早い」と言わんばかり岡崎選手が最終ラップでスピンリタイヤ。廣田選手も追突に合いながら3位でゴールと...順位だけなら悔しいですが、沢山のスポンサー様が駆けつけて頂いた中、レースを終えた選手達に大きな拍手があがるほど内容がありました。次の岡山でも表彰台を獲得できるよう努力して参りますので今後とも応援宜しくお願いします。



御協賛企業



株式会社日本フードリンク



愛車広場カーリンク見附店 ホンダ自動車(有)

愛宕商事株式会社



開志学園高等学校

有限会社加藤興業



弥彦ラビットボウル



Nankai Plus.Co.,LTD.



Beyond



・Zip Auto ・(有)関根車体 ・大昇保険企画 ・(有)東栄ポディー ・(有)堀モータース ・涌井商事(株)